

音楽とは 横への感性なり!

ウィーン岐阜合唱団ホームページアドレス
<https://www.wiengifu.org>

4月

2024年4月1日
編集・発行
ウィーン岐阜合唱団



ときめきホール 春のコンサート

「ピアノ君とポスター君 コンサートと1日だけの展覧会」を鑑賞しました

大垣 アルト 山田 秀子

サクラの開花も間近い3月16日、ときめきホールにてコンサートが開催された。ホールいっぱい並べられた椅子は満席となり、50名の入場者となった。ときめきホール内には、加藤由朗氏がデザインした色鮮やかなポスター17点が展示された。なつかしいウィーン岐阜合唱団の演奏会のチラシデザインや、世界ポスター展で入選したものも含み、コンサートの始まる前には、加藤氏が作品それぞれの説明もあり、いつもとは趣向を変えての芸術性高まる幕開けとなった。チェリスト山田真吾さんの「モルダウ」から始まった今日のコンサートは、プログラムを見てもワクワクする曲が続いている。ウィーン岐阜合唱団の専属ではなくなったが、今も合宿などで歌のご指導いただいている 伴和子先生が歌われる「約束」も、今回楽しみにしていた曲だ。ホールに響く、ピアノ、チェロの音色と、せつなくも激しい情感あふれる伴先生の声。ドラマチックな歌の終盤の歌詞には反戦のメッセージが込められている。いつまでも戦争が終わらない世の中

に、怒りのような重い気持ちにもなってくる。まだ悶々としている中で、カザルス「鳥の唄」。平光先生の心地よいピアノとチェロの深い哀愁漂う音色に、遠い昔の懐かしい情景が浮かんでくる。そのうち今までの悶々としていたもの徐々に川に流れていくように、やさしい気持ちになっている自分に気が付く。やはり生の演奏を聴くのは格別である。

さて、コンサート終了後、29名の方が食事付きの懇親会に参加された。まだコンサートの感動の余韻が残っている中、美しい音楽を聴いた後おなが空くのはなぜだろう。今日の音楽を巡らせるには、胃の中まで満たされたいのかもしれない。初対面の私の隣の席の人に合唱団へのお誘いをしたり、恒例の参加者の自己紹介では、加藤氏とのコラボ演奏会らしく幅広い話題で盛り上がった。今日は、鮮やかな色彩でイメージしたものをわかりやすい形態で表現された芸術性のあるポスターに囲まれて、心地よい音楽をたんまりと聴くことができたとて幸せな1日を過ごすことができた。



歌う喜びを感じながら、素敵な出会いに感謝して・・・

大垣ソプラノ 辻村 由香里

なにげに見た新聞で団員募集の記事を見て、何となく電話をかけ、その日に大垣の練習会場に足を運び、ウィーン岐阜のみなさんと出会い、7年が経ちました。

私の合唱との出会いは、小学校4年生の時。学校で有志の合唱クラブができ、そのオーディションに受かった事に始まります。5・6年生の時には、CBCやNHKの合唱コンクールに出場しました。高いきれいな声を出すことに合唱の魅力を感じていました。その合唱クラブに縁のある先生に、このウィーン岐阜でお会いすることができたのは、まさに奇跡でした。

高校でも音楽部に入り、混声四部の本格的な合唱にのめり込みました。憧れる先輩の真似をして、制服のポケットに音叉を持ち歩き、所構わず仲間とハーモニーを楽しんでいました。周りの目より、自分たちの歌いたいという気持ちが勝っていたのです。今から思えば、とても恥ずかしい思い出です。コンクールで金賞を取ることが目標で、充実した3年間を過ごしました。大学時代は、OBで立ち上げた合唱団でも歌い続け、合唱は私の生活の一部となっていました。

しかし、就職や結婚・子育て中心の生活となり、しばらく合唱から遠のいていました。趣味は、カラオケと言えるくらいで、歌うことは大好きでした。転機は、仕事柄、中学生と第九を歌う経験をしたことです。7年間、毎年秋に町のホールでオーケストラとともに、第九を歌いました。「また、いつか合唱をしたい。」と思い始めたのもこの頃です。ちょうど、子育ても終わろうとしていた時期で、ベストタイミングで新聞記事を見たのです。

初日の練習に参加した印象は、みなさんのレベルが高いということでした。フォーレのレクイエムは、私にとって魅力的な曲でした。久しぶりに本格的な合唱ができること、この合唱団の一員になれることに、この上ない幸せを感じました。平光先生の楽しい中に音楽性をしっかり追求されるご指導には、毎回引き込まれています。仕事の都合で、なかなか始まりの時間から参加できない現状ですが、「金曜日は、趣味に生きる。」と周りに宣言し、できる限り休まず練習に参加することが、私の生きるエネルギーとなっています。

コロナ禍の3年間は、休団することを選択していましたが、コロナが5類に移行したことで、昨年5月から復帰させていただきました。「ぞう列車がやってきた」は、本番で歌いながら涙をこらえるのが大変なくらい感動しました。4年ぶりの第九は、歌詞を思い出すことと、高い音が思うように出せないことに悩みましたが、みなさんと一緒に歌うことで助けていただき、最後まで何とか歌いきることができました。久しぶりの演奏会は、本当に貴重な機会となり、さらに合唱に対する思いが熱くなりました。

ウィーン岐阜合唱団との出会いに感謝しながら、今後も頑張っていこうと思っています。



そうだ●東北に行こう●と、
2018年4月22日から27日まで、5泊6日の旅行に出掛けました

。

大垣 アルト 豊田 久子

1日目、名古屋空港からフジドリームエアラインズで青森空港へ出発。富士山を眼下にしなが、約1時間30分後到着。4月と言うのに気温13℃、春から冬に逆戻りの寒さにびっくりしました。早く暖まりたいと思い、宿泊先近く「津軽じょっぱり漁屋酒場」へ直行。入店するや否や、青森弁の洗礼を受け、

戸惑いと言うより笑うしかなく、そのまま囲炉裏型のカウンターに案内されました。お客様の顔ぶれを見たら、名古屋空港で見かけた面々にまた笑うしかなく、もう顎が痛くて。そして、帆立の肉厚さ、三味線ライブの音色、薦められた「田酒」にほろ酔いになりながら、楽しいひと時を味わいました。

2日目、青森市内でレンタカーを借り深浦町方面へ。途中にある「立ねぶたの館」に寄り道し「黄金崎不老ふ死温泉」に到着。

豪快な日本海の波音を背景にした露天風呂に浸かりました。

3日目、奥入瀬方面を目指しますが、あいにくの雨模様。気分の落ち込みに気合いを入れました。あちこちにフキノトウやスイセンが咲いており、私を歓迎してくれていると思ひこみながら運転を続けました。曇天の下、寂しい山道も段々と標高が高くなり、山脈の合間から大迫力の十和田湖が一気に現れました。思わず「すんげえ～」と声を荒げ、「星野リゾ

ート奥入瀬」になんとか到着。中国人観光客の多さに唖然。でも、静かな森の中に岡本太郎の作品を見つけたり、奥入瀬溪流を聴きながらカフェを味わったりで優雅な時間も過ごせました。もちろん、料理も美味しくて爆食いしました。



4日目、黒石市の山奥を目指します。ナビを頼ろうと運転しましたが、旧式ナビか、矢印の方向がぐるぐる回り始め、「どうしてそこ!？」と一方通行の喧嘩をしつつ、道路標識を見落さないよう必死にハンドルを握りました。そのうち、携帯電話の電波表示がなくなり、焦った矢先に「青荷温泉ランプの宿」に到着。本

当に田舎でした。ここは、電気もありません。非日常を味わうだけです。デジタルデトックスには最適な場所です。たまには、五感を研ぎ澄ませる時間があってもいいのかもしれませんが、ただ、時期がまずかった。宿の横を流れる川が、雪解け水の濁流となり、ゴォーゴォーとうるさい。おかげで睡眠不足。

5日目、私の身体は、疲れがピークになっていました。小雨の影響で桜は散り始めてましたが、通りすがりの弘前城は満開。八甲田山・八幡平国立公園を走り抜け、「酸ヶ湯温泉」に到着。さっそく千人風呂へ。歴史ある趣きが

あってゆっくり浸かりました。そして、めちゃくちゃ広い座敷に1番に行き、1人で料理を舌鼓。貸し切り状態がたまらなく嬉しかったなあ。旅の最後の夜を囁み締め、よくここまで来たもんだと自分で自分を褒めました。

4月～6月 練習予定

準備が先 声は後

練習時間開始 15分前までに集まりましょう

岐阜会場 長森コミュニティーセンター	大垣会場 大垣市南地区センター	各務原会場 ウィーン岐阜ホール(ときめき)
木曜日(18:30～20:30)	金曜日(18:30～20:30)	日曜日 14:00～16:00 (第1日曜日のみ10:00～12:00) 5月末まで開始時間の変更があります
4月4日	4月5日	4月7日 10:00～12:00
4月11日	4月12日	4月14日 14:30～16:30
4月18日	4月19日	4月21日 14:30～16:30
4月25日	4月26日	4月28日 14:30～16:30
5月2日 休み	5月3日 休み	5月5日 休み
5月9日	5月10日	5月12日 14:30～16:30
5月16日	5月17日	5月19日 14:30～16:30
5月23日	5月24日	5月26日 休み
5月30日 合同練習(会場) 長森コミュニティーセンター(時間) 18:30～20:30		
6月1日(土)～2日(日) 合宿(場所 コージュ高鷲)		6月2日 合宿へ参加
6月6日	6月7日	6月9日 先生のご都合により10:00～12:00
6月13日	6月14日	6月16日
6月20日	6月21日	6月23日
6月27日	6月28日	6月30日 下記の合同練習へ参加
6月30日(日) 特別練習の予定をしています(詳細は、後日お知らせします)		

2024年ウィーン岐阜合唱団 合宿の案内 (詳細は後日お知らせします)

日時: 2024年6月1日(土)～6月2日(日)

場所: コージュ高鷲 (郡上市高鷲町高鷲48-1)

集合: 6月1日13時 現地集合(練習時間13時30分) 夕食前、講師による演奏会があります

6月2日のみ参加 8時40分集合

解散: 6月2日16時頃 現地解散

自然と温泉に恵まれ、グランドピアノ・ベーゼンドルファーの音色の中、リフレッシュして練習に励みましょう

広報委員 高橋 なお子 e-mail:wien.chorus2021@gmail.com

携帯:090-9933-0374、fax:058-294-6114

白木 政 春 e-mail:printshiraki@yahoo.co.jp

携帯:090-9924-6137、fax:058-231-4721

]]